

128-1
淡江大學 98 學年度碩士班招生考試試題

系別：日本語文學系

科目：翻

譯

本試題共 乙 頁・乙 大題

一、日翻中

1. あなたはいい加減な人だーそういわれたなら日本人のだれもが不快、どころか、腹を立てることだろう。わたしのどこがいい加減なんですか、と、ムキになって反論する人も多いにちがいない。ということは、「いい加減」という言葉がけっして好ましいことではないことを語っている。
しかし、考えてみると、これはまことに奇妙のことではあるまいか。「いい加減」というのは字義どおりに解すれば、よい加減という意味であり、つまり、適切な、ということだからである。したがって、いい加減な人というのは、ものごとに対してきわめて適切な処置のとれる人、感情の起伏が激しくなく、いつも平静を保っていることのできる人、過激な行動に走ることなく、つねに節度をわきまえている人、ということになる。20% (森本哲郎『日本語表と裏』)
2. まず何よりも肝心なのは、思いきってやり始めることである。仕事の机にすわって、心を仕事に向けるという決心が、結局一番むずかしいことなのだ。一度ペンをとって最初の一線を引くか、あるいは鋏を握って一打ちするかすれば、それでもう事柄はずっと容易になっているのである。ところが、ある人たちは、始めるのにいつも何かが足りなくて、ただ準備ばかりして(そのうしろには彼等の怠惰が隠れているのだが)、なかなか仕事にかからない。そしていよいよ必要に迫られると、今度は時間の不足から焦躁感におちいり、精神だけでなく、ときには肉体的にさえ発熱して、それがまた仕事の妨げになるのである。20% (渡部昇一『統制的生活の方法』)
3. ロシヤ勢力の南下による国土防衛上の危機感から明治政府は蝦夷地の植民地化を目指し、明治2年7月22日、大政官布告をもって諸藩・士族団体・一般庶民の開拓出願に対して相応の地所を割渡す旨を達した。しかしこの布告が出た7月から8月にかけて、開拓を願い出たのはわずか六藩・一士族団体に過ぎなかった。これではどうい所期の目的を達成することは不可能であったために、8月には御沙汰書を発して、金沢・鹿児島・静岡・名古屋・和歌山・熊本・広島・山口・福岡の雄藩に対して地所を指定して強制的に開拓を命ずるに至った。いわゆる北海道の分領地支配といわれる諸藩による分割統治開拓である。20% (『ふくおか歴史散歩』)
4. 「鯉のぼり風に狂うや身もだえてままならぬ世の空になやめり」。映画監督木下恵介氏が、戦時中、中国の野戦病院に入院していたころの歌だ。(10%『天声人語』)

本試題雙面印製

系別：日本語文學系

科目：翻

譯

本試題共 2 頁，2 大題

二、中翻日

1. 離開佐賀以後，經歷了許多事情。

我應該是要當棒球選手的，不知怎麼的，變成相聲二人組「B&B」步入演藝圈，因相聲熱潮而一舉成名。

我也結婚生子，孩子已長大成人。

可是我總覺得，我的根基都來自在佐賀和外婆共度的那段歲月。

那沒有名牌、漂亮裝潢、美食這些名詞，食衣住都簡單的生活。

前言中也提到，最近大家都說世道「不景氣」但和我小時候比起來，還是覺得大家現在擁有的很多，過得很寬裕。

可是像外婆那樣活得燦爛的人很少。(30%『佐賀的超級阿嬤』)